

コラム読み比べて分析

朝日中学校

(奄美市)

実践校1年目。記事から読み取った情報を基に考えを発展させ、

視野を広げることを目指す。2022年度は、3年生が南風録を書き取り感想を書く授業に参加。2年生は平和学習の一環で班ごとに学校新聞を作った。

生徒用玄関近くには全国・地元計5紙の閲覧コーナーを設けた。迫美穂子教諭(38)は「特に3年生は、各紙の1面を見比べどのニュースが大事なのか把握するようになった」と手応えを語る。

ある日の授業では、3年生85人が8班に分かれ5紙のコラムを比較。表現や構成、メッセージ性を分析し、最も良いと思ったコラムを発表した。原口結乃さんは「新聞で見た表現を作文で参考にする」。迫教諭は「全学年で取り組み、中学3年間で生徒の情報収集力を養いたい」と語った。

(木下瑛司)



各紙のコラムを比較する生徒ら
＝奄美市の朝日中学校

かごしま



NIE実践校

主体的・対話的な学びを

平成中学校

(薩摩川内市)

実践校3年目。「主体的・対話的で深い学び」を目標に掲げ、新

聞を活用している。廊下には、SNS(交流サイト)やジェンダー平等など「若年層の事案」に焦点を当てて教員が切り抜いた記事を掲示している。

図書室の新聞コーナーには、南日本新聞のオセモコ欄を集めた冊子を展示。生徒の利用数が格段に多くなったという。

生徒が気になった記事を切り抜いて意見や感想をまとめる授業にも取り組む。昨年10月は、各学年の生徒を混成したグループで記事を選び、発表しあった。生徒会長の2年佐藤碧泉さんは「交流が少ない(生徒同士で話し、互いを知ることができた」と振り返る。担当する有川沢美教諭は「分かりやすく伝える力をつけていってほしい」と展望を語った。(荒川卓也)



切り抜いた記事を発表し合う生徒ら
＝薩摩川内市の平成中学校